

三陸防災復興ゾーンプロジェクトの推進と令和5年度の取組

現状と課題

① 「防災」で世界とつながる三陸

【現状】 震災を経験していない世代の増加、震災の風化や関心の低下が懸念
【課題】 震災の風化防止、復興の姿の重層的な発信、防災力向上に貢献する取組が必要

② 多様な交通ネットワークで国内外とつながる三陸

【現状】 R3.12復興道路の全線開通など新たな交通ネットワークが整備
【課題】 復興道路や港湾など多様な交通ネットワークを生かした誘客促進が必要

③ ジオパークで世界とつながる三陸

【現状】 住民主体の活動などエリアとしての一体活動が拡大
【課題】 ジオパークのサイトの魅力を伝えるコンテンツづくりの推進が必要

④ 世界に誇れる食やスポーツでつながる三陸

【現状】 三陸の豊かな食材や魅力を軸に据えた産業振興やスポーツ施設を活用した合宿等の誘致活動の推進
【課題】 三陸の「食」を核とした産業振興と合宿地としての認知度向上への取組が必要

⑤ 次代を担う人材の育成

【現状】 三陸DMOセンターが沿岸地域に移転し、現地機能を強化
【課題】 地域振興をけん引する継続的な人材の育成が必要

⑥ 多様な主体の参画と協働によるプロジェクトの推進

【現状】 三陸振興協議会を設置し、関係団体の事業の共有と連携を推進
【課題】 多様な主体が参画し、持続的な三陸振興につなげていくことが必要

今後の展開

- ①「防災」 震災の事実と教訓を学ぶ機会の創出と発信力強化、防災学習の推進と企業・大学の研修等への活用
- ②多様な交通ネットワーク 復興道路等や港湾を活用したクルーズ船の寄港誘致、観光の推進や市町村等と連携した三陸鉄道の企画列車の実施による誘客促進
- ③ジオパーク ジオパークのサイトの教育・ツーリズムへの活用の促進、ジオガイドの拡充や関係機関との連携強化
- ④食やスポーツ 「食」を核とした地域振興の推進、新たに整備した施設等のPRによるスポーツ大会・合宿等の誘致
- ⑤人材の育成 産業振興や地域振興を担う人材の育成
- ⑥参画と協働 多様な主体の連携による交流人口の拡大と三陸地域の持続的な振興を図る取組を推進

令和5年度の具体的な取組

① 「防災」で世界とつながる三陸

- 拡** 伝承館を拠点とした震災の事実と教訓を学ぶ機会の創出及び復興フォーラム等を通じた復興の姿の重層的な発信（復興情報発信事業費 23 百万円）
防災学習のプログラムの充実と企業・大学の研修・現地ゼミ等の誘致（新しい三陸振興推進費 5 百万円[政プロ費]）

② 多様な交通ネットワークで国内外とつながる三陸

- 新** 三陸地域への誘客促進を図るため、貸切バスを使用した教育旅行を催行する旅行業者の支援を実施（いわて教育旅行誘致促進事業費補助 12 百万円）
港湾の利用促進とクルーズ船寄港誘致のためのプロモーション活動（クルーズ船誘致プロモーション事業費 6 百万円）
観光資源の活用や復興道路等と連携した三陸鉄道企画列車の造成等を支援（三陸鉄道運営支援事業費(三陸鉄道強化促進協議会負担金) 16 百万円)

③ ジオパークで世界とつながる三陸

- 地質遺産等の保全に係る学習会等の推進、ジオガイドの拡充に向けた講習会を実施（三陸ジオパーク推進強化事業費 8 百万円[政プロ費]）

④ 世界に誇れる食やスポーツでつながる三陸

- 県産オリジナルのサクラマス海面養殖用種苗の生産供給体制の構築（さけ、ます海面養殖イノベーション推進事業費 3 百万円[政プロ費]）
- 新** 交流人口の拡大を図るため、ワールドアマチュアラグビーフェスティバルへ岩手県選抜チームを派遣（ラグビー国際交流推進事業実行委員会(仮称)負担金 6 百万円[政プロ費]）

⑤ 次代を担う人材の育成、⑥ 多様な主体の参画と協働によるプロジェクトの推進

- 子ども達に調査船特別公開や特別授業等の最先端の海洋研究に触れる機会を提供（海洋研究拠点形成促進事業費(海洋研究学びの場創出推進事業費) 2 百万円）
- 新** さんりく音楽祭等の開催と子どもたちとの共演などによる交流機会の創出（復興の絆を活かした文化芸術による次世代育成事業費 8 百万円[政プロ費]）

1 新たな交通ネットワークによる産業の振興

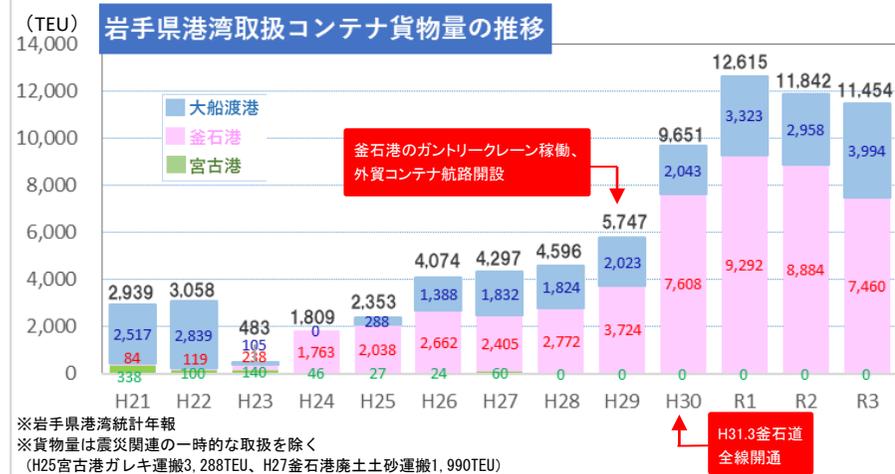
- 港湾や復興道路等の整備により、企業立地が進展するとともに、コンテナ貨物取扱量が震災前より大幅に**増加**
- 復興道路等の全線開通で、水産物や農畜産物の輸送時間が大幅に短縮するなど**産業の振興に寄与**

2 観光コンテンツの充実などによる誘客促進

- 三陸の「食」、三陸鉄道の企画列車、三陸ジオパークをめぐるジオツアーなど**観光資源の充実**
- 復興道路等の開通による高速バス等利便性の向上、復興道路周辺の道の駅の整備による**誘客促進**

3 防災を学習する場としての取組の推進

- ぼうさいこくたい2021（釜石市）の約16,000人規模（ハイブリッド形式）での開催を契機に**県外との交流**を進め、三陸の魅力を継続して**発信**
- 令和元年9月に開館した東日本大震災津波伝承館は令和4年12月末時点で**約66万人が来館**
【県内学校の訪問（予約件数）が増加
令和3年度231件（令和2年度188件）】
- 三陸地域（沿岸13市町村）の教育旅行客は増加傾向 【**令和3年616校**（令和2年387校）】



三陸鉄道の企画列車(こたつ列車)



ジオツアー(三陸ジオパーク)



〈三陸鉄道震災学習列車利用者数〉

